

文化交流館 新刊図書・ビデオ 案内

貸し出し期間は、図書は1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間です。返却期間を守りましょう(夜間返却窓口もご利用ください)。



おくりびと
(映画、DVD)
アミューズソフトエンターテインメント

「年齢問わず、高額保証!旅のお手伝い。NKエージェント」。そんな求人広告を手面に面接に訪れた大悟は、社長から遺体を棺に納める“納棺”の仕事だと告げられ、戸惑いながらも妻には結婚式場の仕事と偽り、納棺師見習いとして働き出す。そこにはさまざまな人のさまざまな境遇が待っていた。(131分)



グリーンフィンガー 約束の庭 (児童書)
ポール・メイ / 著 さ・え・ら書房 / 刊

家族とともにロンドンから田舎に引っ越してきたケイトは、文字を読んだり書いたりするのが不得意というコンプレックスや、両親の不仲のために心を固く閉ざしていた。だが、ある老人との出会いをきっかけに、植物を育てる楽しさに気づき、庭仕事を通して自分なりの生き方を模索していく。



終の住処 (一般書)
磯崎憲一郎 / 著 新潮社 / 刊

お互い30歳を過ぎて結婚した夫婦生活を夫が振り返る。妻はいつでも不機嫌だった。夫は実家の母に浮気を告白し、妻との離婚を決意するが、時を同じくして妻から妊娠を告げられる。娘の存在が結婚生活の危機を救ってくれたことに感謝をするも、夫はまた浮気を繰り返す。第141回芥川賞受賞。

だいせつざんのすがお

大雪山の素顔

山岳ガイド、旭岳ビジターセンター、自然解説員などで活躍する人たちをリレーしています。高山植物、紅葉、雪、動物など「自然の大博物館」といわれる大雪山の素顔が見えてきます。

「白玉の木」の話

大雪山の秋の始まり、紅葉に先駆けてさまざまな高山植物の果実が色づいてきます。

よく知られているのは、艶やかな赤い「コケモモ」や「イワツツジ」、ブルーベリーに似た青紫色の「クロウスゴ」などでしょうか。

一般に果実が色鮮やかで甘いのは、食べることによって種子を運んでくれる鳥や哺乳(ほにゅう)類へのアピールです。人間が食べておいしい種類も多いのですが、国立公園内では他の生き物の「取り分」です。

これらの果実の中で、個性的なのは「シラタマノキ」。その名の通り、直径1センチくらいの白玉団子によく似た姿をしています。

不思議なことに、果実らしからぬ? サロメチールの匂いが強くなります。湿布薬、あるいは歯磨き粉のような…。食べた人の感想は、本やインターネットで見ることができました。「味もサロメチール」だそうです。あまり食べたくはありませんね。

でも他の動物とヒトでは、味や匂いの感じ方が違うのかもしれませんが。「一体どんな生き物が

この実を食べるのだろう」と思っていました。

実際、他の果実よりも遅くまで食べられずに残っているように見えます。

「独特の匂いだけどこれがいんだよね」と感じる生き物がいなければ、種子が運ばれにくいのではないかと余計な心配をしてみたりして…。

そんな「シラタマノキ」ですが、秋遅く山に雪が降る時期になってくると、湿布臭がほとんどしないことに最近気がつきました。さらに、そのころ食べてみたら甘味があった、というマル秘情報も耳にしました。

もしかすると「シラタマノキ」は、他の果実と熟する時期がずれている(ライバルより後でおいしくなる)ことで、動物たちに食べてもらう機会が多くなっているのかもしれませんが。独特の匂いは「まだ熟していませんよ、食べないでね」というサイン(?)

秋に大雪山を歩く機会があればぜひ探してみてください(おそらく山の動物たちの食料なので、採って持ち帰らないでくださいね)。



文、写真：旭岳ビジターセンター 田上 千尋